

年間指導計画

1年			
3学期制	2学期制	章/節	時数
1 学 期	前 期	1章 正の数と負の数 1節 正の数と負の数 2節 加法と減法 3節 乗法と除法 4節 正の数と負の数の活用 章末の問題	24
		2章 文字と式 1節 文字と式 2節 1次式の計算と活用 3節 数量の関係を表す式 章末の問題	18
		3章 方程式 1節 方程式 2節 方程式の活用 章末の問題	15
2 学 期	後 期	4章 比例と反比例 1節 比例 2節 反比例 3節 比例と反比例の活用 章末の問題	19
		5章 平面図形 1節 基本の図形と作図 2節 図形の移動 章末の問題	14
3 学 期		6章 空間図形 1節 空間図形の観察 2節 図形の計量 章末の問題	15
		7章 資料の活用 1節 資料の散らばりと代表値 章末の問題	10
		配当時数	115
		予備時数	25
		合計	140

2年			
3学期制	2学期制	章/節	時数
1 学 期	前 期	1章 式の計算 1節 文字式の計算 2節 文字式の活用 章末の問題	16
		2章 連立方程式 1節 連立方程式 2節 連立方程式の活用 章末の問題	12
		3章 1次関数 1節 1次関数 2節 1次方程式と1次関数 3節 1次関数の活用 章末の問題	17
2 学 期	後 期	4章 図形の性質と合同 1節 角と平行線 2節 三角形の合同と証明 章末の問題	17
		5章 三角形と四角形 1節 三角形 2節 平行四辺形 章末の問題	16
3 学 期		6章 確率 1節 確率 章末の問題	10
		配当時数	88
		予備時数	17
		合計	105

3年			
3学期制	2学期制	章／節	時数
1 学 期	前 期	1章 式の計算 1節 式の展開 2節 因数分解 3節 文字式の活用 4節 素因数分解 章末の問題	22
		2章 平方根 1節 平方根 2節 平方根の計算 章末の問題	14
		3章 2次方程式 1節 2次方程式 章末の問題	9
2 学 期	後 期	4章 関数 1節 関数 $y=ax^2$ 2節 いろいろな関数 章末の問題	13
		5章 図形の相似 1節 相似な図形 2節 平行線と線分の比 3節 相似な図形の面積比と体積比 章末の問題	21
3 学 期		6章 図形の定理とその活用 1節 三平方の定理 2節 円周角の定理 章末の問題	17
		7章 標本調査 1節 標本調査 章末の問題	6
配当時数			102
予備時数			38
合計			140

■配当時数について

- ・学校教育法施行規則に示されている数学の授業時数に対し、学校や生徒の実態に即して弾力的な指導計画を立てられるよう、配当時数を設定しています。
- ・本資料 p. 3-17 の表において配当時数が空欄となっている内容は、生徒の個の実態や学級の状況などに応じて適宜扱うことができるものです。同様に、表では省略している「やってみよう」、「数学のたんけん」も、適宜扱うことができるものです。

1年 年間指導計画

(下線は学習指導要領に示された用語・記号)
 (※章の扉を扱う時数は、第1節第1小節に含まれる)

月	章	節/小節	配当 時数	学習内容	用語・記号
4月 (10)	1章	1章の扉	※	【導入】身近にある負の数	
		1節 正の数と負の数			
		① 反対の性質をもつ量	1	・反対の性質を持つ数量の表し方	マイナス, プラス
		② 正の数と負の数	1	・正の数, 負の数 ・自然数	負の数, 負の符号, 正の数, 正の符号, 自然数, 原点, 正 の方向, 負の方向
		③ 数の大小	1	・絶対値 ・数の大小と不等号	絶対値, 符号を変 えた数
		基本の問題	1	・本節のまとめと確かめの問題	
		2節 加法と減法			
		① 同じ符号の数の加法	1	・同符号の2数の和	加法
		② 異なる符号の数の加法	1	・異符号の2数の和	
		③ 減法	2	・減法と加法の関係	減法
5月 (12)	正の数と負の数	④ 加法と減法の混じった計算	2	・加法の交換法則, 結合法則 ・加法と減法の混じった計算の仕方	加法の交換法則・ 結合法則, 項, 正 の項, 負の項
		基本の問題	1	・本節のまとめと確かめの問題	
		3節 乗法と除法			
		① 乗法(1)	1	・被乗数が正の数である乗法	乗法
		② 乗法(2)	1	・被乗数が負の数, 0である乗法	
		③ 除法	2	・正の数, 負の数の除法 ・逆数	除法, 逆数
		④ 乗法と除法	2	・いくつかの数の積 ・乗法の交換法則, 結合法則 ・乗法と除法の混じった計算	乗法の交換法則・ 結合法則, 2乗, 3乗, 累乗, 指数
		⑤ 四則の混じった計算	1	・計算の順序 ・分配法則	分配法則
		⑥ 数の集合と四則計算	1	・数の集合と四則計算の可能性	集合
		基本の問題	1	・本節のまとめと確かめの問題	
6月 (14)	章末	4節 正の数と負の数の活用			
		① 正の数と負の数の活用	2	・変化のようすを正の数と負の数を使って表 すこと ・基準との差を正の数と負の数を使って表し, 合計や平均を求めること	
		1章のくり返し練習		・補充の問題	
		1章のたしかめ	2	・A問題(主に知識・技能の問題) ・B問題(活用の問題)	
		とりくんでみよう		・個に応じた学習(やや難しい問題)	

(下線は学習指導要領に示された用語・記号)
 (※章の扉を扱う時数は、第1節第1小節に含まれる)

月	章	節/小節	配当 時数	学習内容	用語・記号
6 月	2 章 文字 と 式	2章の扉	※	【導入】 マッチ棒の数を表す式	
		1節 文字と式			
		① 文字を使った式	1	・文字式の意味	
		② 積の表し方	1	・文字式における積の表し方	
		③ 商の表し方	1	・文字式における商の表し方	
		④ 式の値	1	・式の値の意味と求め方	代入, 値, 式の値
		⑤ 文字を使った数量の表し方	2	・いろいろな数量を文字式で表すこと ・文字式の意味を読み取ること	π
		基本の問題	1	・本節のまとめと確かめの問題	
		2節 1次式の計算と活用			
		① 1次式の項と係数	1	・1次式, 1次の項, 係数の意味と用語 ・1次の項をまとめる計算	1次式, 1次の項, 係数
② 1次式の加法と減法	1	・1次式の加法, 減法			
③ 1次式と数の乗法	2	・1次式と数の乗法 ・1次式を数でわる計算			
④ 数え方を見いだし説明しよう	1	★基石の数の数え方を見いだし, その数え方を図や式で伝え合う活動			
7 月 (6)	(18)	基本の問題	1	・本節のまとめと確かめの問題	
		3節 数量の関係を表す式			
		① 等しい関係を表す式	1	・等式の表し方	等式, 左辺, 右辺, 両辺
		② 大小の関係を表す式	1	・不等式の表し方 ・等式や不等式の意味を読み取ること	不等式, \leq , \geq
		基本の問題	1	・本節のまとめと確かめの問題	
		章末			
		2章のくり返し練習		・補充の問題	
		2章のたしかめ	2	・A問題(主に知識・技能の問題) ・B問題(活用の問題)	
とりくんでみよう		・個に応じた学習(やや難しい問題)			
9 月 (13)	3 章 方 程 式 (15)	3章の扉	※	【導入】 計算三角形	
		1節 方程式			
		① 方程式	1	・方程式とその解の意味	方程式, 解, 解く
		② 等式の性質	1	・等式の性質と方程式の解き方	
		③ 1次方程式の解き方(1)	1	・簡単な1次方程式の解き方 ・移項	1次方程式, 移項
		④ 1次方程式の解き方(2)	2	・かっこのある1次方程式, 係数に小数や分数のある1次方程式の解き方	分母をはらう
基本の問題	1	・本節のまとめと確かめの問題			

(下線は学習指導要領に示された用語・記号)
 (※章の扉を扱う時数は、第1節第1小節に含まれる)

月	章	節/小節	配当 時数	学習内容	用語・記号	
9月	3章 方程式	2節 方程式の活用				
		① 方程式の活用(1)	2	・方程式を使った基本的な問題の解決		
		② 方程式の活用(2)	2	・1つの数量を2通りの式で表して方程式をつくる問題の解決(過不足に関する問題, 速さ・時間・道のりに関する問題)		
		③ 比例式とその活用	2	・比例式の意味 ・簡単な比例式の解き方 ・比例式を使った基本的な問題の解決	比例式	
10月 (14)	3章 方程式	基本の問題	1	・本節のまとめと確かめの問題		
		章末				
		3章のくり返し練習		・補充の問題		
		3章のたしかめ	2	・A問題(主に知識・技能の問題) ・B問題(活用の問題)		
	4章 比例と反比例	(19)	とりくんでみよう		・個に応じた学習(やや難しい問題)	
			4章の扉	※	【導入】身近にある関数	
			1節 比例			
			① ともなって変わる2つの数量	1	・関数関係の意味	関数
			② 比例を表す式	1	・比例を表す式 ・変数, 定数, 比例定数の意味	比例, 変数, 定数, 比例定数
			③ 比例と変域	1	・変域の意味と表し方 ・比例で変域が負の数の場合	変域
			④ 比例の式の求め方	1	・条件を満たす比例の式を求める方法	
			⑤ 座標	1	・座標に関する用語とその意味	x軸, y軸, 座標軸, 原点, 座標, x座標, y座標
			⑥ 比例のグラフ	1	・比例のグラフ	比例のグラフ
			⑦ 比例のグラフのかき方と特徴	1	・比例のグラフのかき方と特徴	
11月 (13)	3章 比例と反比例	基本の問題	1	・本節のまとめと確かめの問題		
		2節 反比例				
		① 反比例を表す式	2	・反比例を表す式 ・反比例で変域が負の数の場合	反比例, 比例定数	
		② 反比例の式の求め方	1	・条件を満たす反比例の式を求める方法		
11月 (13)	3章 比例と反比例	③ 反比例のグラフ	2	・反比例のグラフの特徴 ・双曲線	反比例のグラフ, 双曲線	
		基本の問題	1	・本節のまとめと確かめの問題		
		3節 比例と反比例の活用				
		① 比例と反比例の活用	1	・比例と反比例の考え方をを使った問題の解決		
11月 (13)	3章 比例と反比例	② 比例の表, 式, グラフの活用	1	・比例の表, 式, グラフを使った問題の解決		
		③ 比例の考えで見積もろう	1	★生活の中にある問題を比例の考えを使って解決する活動		

(下線は学習指導要領に示された用語・記号)
 (※章の扉を扱う時数は、第1節第1小節に含まれる)

月	章	節／小節	配当 時数	学習内容	用語・記号
11 月		章末			
		4章のくり返し練習		・補充の問題	
		4章のたしかめ	2	・A問題(主に知識・技能の問題) ・B問題(活用の問題)	
		とりくんでみよう		・個に応じた学習(やや難しい問題)	
	5 章 平 面 図 形	5章の扉	※	【導入】身近にある模様と図形の見方	
		1節 基本の図形と作図			
		① 直線と角	1	・直線, 線分 ・2点間の距離 ・記号//を使った平行の表し方 ・記号∠を使った角の表し方	直線, 線分, 距離, //, ∠
		② 線対称な図形の性質	1	・線対称な図形の性質 ・記号⊥を使った垂直の表し方 ・垂線, 垂直二等分線の意味 ・記号△を使った三角形の表し方 ・角の二等分線の意味	⊥, 垂線, 中点, 垂直二等分線, △, 二等分線
		③ 円と直線	1	・弦, 弧および記号∩を使った弧の表し方 ・おうぎ形, 中心角 ・円の接線は接点を通る半径に垂直であること	弦, 弧, おうぎ形, 中心角, 接する, 接線, 接点
		④ 垂直二等分線の作図	1	・垂直二等分線の作図 ・線分ABの垂直二等分線上の点と2点A, Bとの距離が等しいこと	
		⑤ 角の二等分線と垂線の作図	1	・角の二等分線の作図 ・直線上にない点を通る垂線の作図 ・平行な2直線間の距離	
		⑥ 作図の方法を考え説明しよう	2	・直線上の点を通る垂線の作図 ★条件にあった図形を作図する方法を見だし, その方法や方法の正しさを説明する活動	
		基本の問題	1	・本節のまとめと確かめの問題	
		2節 図形の移動			
12 月 (8)	① 図形の移動	1	・移動の意味 ・平行移動, 回転移動, 対称移動	移動, 平行移動, 回転移動, 対称移動	
	② 平行移動, 回転移動	1	・平行移動の性質 ・回転移動の性質	回転の中心, 点対称移動	
	③ 対称移動	1	・対称移動の性質 ・移動による図形の見方	対称の軸	
	基本の問題	1	・本節のまとめと確かめの問題		
	章末				
	5章のたしかめ	2	・A問題(主に知識・技能の問題) ・B問題(活用の問題)		
	とりくんでみよう		・個に応じた学習(やや難しい問題)		

(下線は学習指導要領に示された用語・記号)
 (※章の扉を扱う時数は、第1節第1小節に含まれる)

月	章	節／小節	配当 時数	学習内容	用語・記号
1 月 (9)	6 章 空 間 図 形 (15)	6章の扉	※	【導入】いろいろな建造物，多面体をつくる活動	
		1節 空間図形の観察			
		① 多角形で囲まれた立体	2	・角すい ・多面体，正多面体 ・正多面体の見取図と展開図	角すい，多面体， 正多面体
		② 点，直線と平面	1	・平面の決定 ・空間での2直線の位置関係，ねじれの位置	ねじれの位置
		③ 直線，平面の位置関係	1	・直線と平面，2平面の位置関係 ・点と平面，2平面間の距離，立体の高さ	
		④ 平面図形が動いてできる立体	1	・線や面が動いてできる立体 ・円すい ・回転体	円すい，回転体， 回転の軸，母線
		⑤ 見取図，展開図，投影図	2	・角すい，円すいの展開図 ・投影図	立面図，平面図， 投影図
		基本の問題	1	・本節のまとめと確かめの問題	
		2節 図形の計量			
		① おうぎ形の弧の長さとの面積	1	・おうぎ形の弧の長さとの面積	
		② 角柱，円柱，角すい，円すいの表面積	1	・底面積，側面積，表面積の意味 ・角柱，円柱，円すいの表面積の求め方	底面積，側面積， 表面積
		③ 角柱，円柱，角すい，円すいの体積	1	・角柱，円柱，角すい，円すいの体積の求め方	
		④ 球の表面積と体積	1	・球の表面積と体積の求め方	
		基本の問題	1	・本節のまとめと確かめの問題	
		章末			
2 月 (12)	6章のくり返し練習		・補充の問題		
	6章のたしかめ	2	・A問題(主に知識・技能の問題) ・B問題(活用の問題)		
	とりくんでみよう		・個に応じた学習(やや難しい問題)		

(下線は学習指導要領に示された用語・記号)
 (※章の扉を扱う時数は、第1節第1小節に含まれる)

月	章	節/小節	配当 時数	学習内容	用語・記号
2 月	7 章 資料 の 活用 (10)	7章の扉	※	【導入】身近な資料のいろいろな見方	
		1節 資料の散らばりと代表値			
		① 資料の散らばりのようす	1	・範囲 ・度数分布表, ヒストグラムのしくみ, 見方と表し方	範囲, 階級, 階級の幅, 度数, 度数分布表, ヒストグラム
		② 階級や階級値の幅の決め方	1	・階級や階級の幅を変えるとヒストグラムの形が変わること ・階級や階級の幅の決め方	
		③ 資料の比較	1	・総度数が異なる2つの資料の比較 ・相対度数 ・度数分布多角形のしくみ, 見方と表し方	相対度数, 度数分布多角形
		④ 平均値と中央値	1	・度数分布表から平均値を求める方法	平均値, 階級値, 代表値, 中央値, メジアン
		⑤ 最頻値	1	・代表値 ・平均値, 中央値, 最頻値の特徴と有用性	最頻値, モード
3 月 (4)		⑥ 近似値	1	・測定値と真の値, 誤差 ・有効数字の意味, $a \times 10^n$ の形で数を表す方法	近似値, 誤差, 有効数字
		⑦ 資料の傾向をとらえ説明しよう	2	★資料の傾向を表やグラフ, 代表値などを使ってとらえ, 説明し伝え合う活動	
		章末			
		7章のたしかめ	2	・A問題(主に知識・技能の問題) ・B問題(活用の問題)	
		とりくんでみよう コンピュータを活用しよう		・個に応じた学習(やや難しい問題) ・資料の並べかえ, ヒストグラムの作成, 代表値の計算	
		巻末			
		数学研究室		・数学への興味を深める課題など	
		算数をふりかえろう		・小学校で学習した内容をふり返る問題	
		復習		・これまでに学習した内容をふり返る問題	

2年 年間指導計画

(下線は学習指導要領に示された用語・記号)
(※章の扉を扱う時数は、第1節第1小節に含まれる)

月	章	節/小節	配当 時数	学習内容	用語・記号
4月 (8)	1章 式の計算 (16)	1章の扉	※	【導入】数あてゲーム	
		1節 文字式の計算			
		① 単項式と多項式	1	・単項式と多項式 ・単項式の次数と多項式の次数	単項式, 多項式, 次数, 2次式
		② 同類項	1	・同類項の簡約	同類項
		③ 多項式の加法と減法	1	・多項式の加法と減法	
		④ 単項式の乗法と除法	2	・単項式の乗法と除法	
		⑤ いろいろな計算	2	・かっこのある式の計算	
		⑥ 式の値	1	・式を簡単にしてから式の値を求めること	
5月 (9)	2章 連立方程式 (12)	基本の問題	1	・本節のまとめと確かめの問題	
		2節 文字式の活用			
		① 数の性質を見だし発展させよう	2	★数の性質を見だし発展させ、文字を使って説明し伝え合う活動	
		② 文字を使った説明	1	・いつも成り立つことを文字を使って説明すること	
		③ 等式の変形	1	・目的に応じた等式の変形	yについて解く
		基本の問題	1	・本節のまとめと確かめの問題	
		章末			
		1章のくり返し練習		・補充の問題	
1章のたしかめ	2	・A問題(主に知識・技能の問題) ・B問題(活用の問題)			
とりくんでみよう		・個に応じた学習(やや難しい問題)			
6月 (12)	2章 連立方程式 (12)	2章の扉	※	【導入】2つの文字を含む方程式で考える身近な問題	
		1節 連立方程式			
		① 連立方程式とその解	1	・2元1次方程式 ・連立方程式とその解の意味	2元1次方程式, (2元1次方程式の)解, 連立方程式, (連立方程式の)解, 解く
		② 連立方程式の解の求め方	1	・一方の文字を消去して連立方程式を解くこと	消去する
		③ 加減法による解き方	1	・加減法による連立方程式の解き方	加減法
		④ 代入法による解き方	1	・代入法による連立方程式の解き方	代入法
		⑤ いろいろな連立方程式	1	・係数に小数や分数のある連立方程式の解き方 ・ $A=B=C$ の形の方程式の解き方	
		基本の問題	1	・本節のまとめと確かめの問題	
		2節 連立方程式の活用			
		① 連立方程式の活用(1)	1	・連立方程式を使った基本的な問題の解決	
② 連立方程式の活用(2)	2	・連立方程式を使ったいろいろな問題の解決 (速さ・時間・道のりに関する問題, 割合に関する問題)			
基本の問題	1	・本節のまとめと確かめの問題			

(下線は学習指導要領に示された用語・記号)
 (※章の扉を扱う時数は、第1節第1小節に含まれる)

月	章	節/小節	配当 時数	学習内容	用語・記号
6月		章末			
		2章のくり返し練習		・補充の問題	
		2章のたしかめ	2	・A問題(主に知識・技能の問題) ・B問題(活用の問題)	
		とりくんでみよう		・個に応じた学習(やや難しい問題)	
		3章の扉	※	【導入】身近にある1次関数	
7月 (5)	1次関数	1節 1次関数			
		① 1次関数	1	・1次関数の意味	1次関数
		② 変化の割合	1	・1次関数の変化の割合	<u>変化の割合</u>
		③ 1次関数のグラフ	1	・1次関数 $y=ax+b$ のグラフ	切片
		④ 1次関数のグラフの特徴	1	・1次関数のグラフの特徴	<u>傾き</u>
		⑤ 1次関数を表す式とグラフ	1	・1次関数のグラフのかき方と読み方	
9月 (9)	3章 1次関数	⑥ 1次関数の求め方	1	・条件を満たす1次関数を求める方法	
		基本の問題	1	・本節のまとめと確かめの問題	
		2節 1次方程式と1次関数			
		① 2元1次方程式のグラフ	1	・2元1次方程式 $ax+by=c$ のグラフ ・ $y=m$ のグラフ	
		② 連立方程式の解とグラフ	1	・グラフを使った連立方程式の解き方 ・連立方程式を使った2直線の交点の求め方	
		基本の問題	1	・本節のまとめと確かめの問題	
		3節 1次関数の活用			
		① 1次関数の考え方の活用	1	・具体的な事象の数量の関係を1次関数とみなして考察すること	
		② 表、式、グラフの活用	1	・1次関数の表、式、グラフを使った問題の解決	
		③ 身近な数量の関係を表すグラフ	1	・具体的な事象の数量の関係を表すグラフの読み取りと考察	
10月 (10)		④ 電話料金を調べよう	2	★生活や社会の中にある問題を1次関数の考えを使って解決する活動	
		章末			
		3章のくり返し練習		・補充の問題	
		3章のたしかめ	2	・A問題(主に知識・技能の問題) ・B問題(活用の問題)	
		とりくんでみよう		・個に応じた学習(やや難しい問題)	

(下線は学習指導要領に示された用語・記号)
 (※章の扉を扱う時数は、第1節第1小節に含まれる)

月	章	節/小節	配当 時数	学習内容	用語・記号
10 月	4 章 図 形 の 性 質 と 合 同 (17)	4章の扉	※	【導入】 三角形・四角形の内角の和, 平行線と角	
		1節 角と平行線			
		① 直線と角	1	・対頂角の性質 ・平行線の性質	対頂角, 同位角, 錯角
		② 三角形の角	2	・三角形の内角と外角の性質 ・鋭角, 直角, 鈍角 ・内角の大きさによる三角形の分類 ・図形の性質を使って角度を求める問題	内角, 外角, 鋭角, 鈍角
		③ 多角形の内角の和を求めよう	2	★多角形の内角の和を見だし, その求め方を筋道立てて説明し伝え合う活動	
		④ 多角形の外角の和を求めよう	1	★多角形の外角の和が 360° になることを見だし, そのことを筋道立てて説明し伝え合う活動	
		基本の問題	1	・本節のまとめと確かめの問題	
		2節 三角形の合同と証明			
		① 合同な図形	1	・合同な図形の性質 ・記号 \equiv を使った合同の表し方	対応する頂点, 対 応する辺, 対応す る角, \equiv
		11 月 (10)		② 三角形の合同条件	1
③ 仮定と結論	2			・仮定と結論 ・逆 ・平行線になる条件	仮定, 結論, 逆
④ 証明	1			・証明の意味 ・証明の根拠となることがらのまとめ	証明
⑤ 証明のしくみ	2			・証明のしくみ ・図形の性質を証明したり, 証明を読んで新たな性質を見いだすこと	
基本の問題	1			・本節のまとめと確かめの問題	
章末					
4章のくり返し練習				・補充の問題	
4章のたしかめ	2			・A問題(主に知識・技能の問題) ・B問題(活用の問題)	
とりくんでみよう				・個に応じた学習(やや難しい問題)	

(下線は学習指導要領に示された用語・記号)
 (※章の扉を扱う時数は、第1節第1小節に含まれる)

月	章	節/小節	配当 時数	学習内容	用語・記号
11月		5章の扉	※	【導入】折り紙でつくる正三角形についての考察	
		1節 三角形			
12月	5章	① 二等辺三角形の性質	2	<ul style="list-style-type: none"> 二等辺三角形の底角 定義, 定理 二等辺三角形の頂角の二等分線 	定義, 頂角, 底辺, 底角, 定理
		② 2つの角が等しい三角形	1	<ul style="list-style-type: none"> 二等辺三角形になる条件 	
		③ 直角三角形の合同	2	<ul style="list-style-type: none"> 直角三角形の合同条件 	斜辺
		基本の問題	1	<ul style="list-style-type: none"> 本節のまとめと確かめの問題 	
		2節 平行四辺形			
1月	三角形と四角形	① 平行四辺形の性質	1	<ul style="list-style-type: none"> 平行四辺形の性質 	□
		② 平行四辺形になる条件	2	<ul style="list-style-type: none"> 平行四辺形になる条件 	
		③ 平行四辺形になる条件の活用	2	<ul style="list-style-type: none"> 平行四辺形になる条件のまとめと図形の性質の証明 	
		④ 特別な平行四辺形	1	<ul style="list-style-type: none"> 長方形, ひし形, 正方形は平行四辺形であること 	
		⑤ 面積が等しい三角形	1	<ul style="list-style-type: none"> 等積変形 	
		基本の問題	1	<ul style="list-style-type: none"> 本節のまとめと確かめの問題 	
		章末			
2月	6章	5章のたしかめ	2	<ul style="list-style-type: none"> A問題(主に知識・技能の問題) B問題(活用の問題) 	
		とりくんでみよう		<ul style="list-style-type: none"> 個に応じた学習(やや難しい問題) 	
		6章の扉	※	【導入】身近にある確率	
		1節 確率			
		① ことがらの起こりやすさ	2	<ul style="list-style-type: none"> ことがらの起こりやすさの度合いの表し方 確率の意味 	確率
		② 確率	2	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な場合の確率の求め方 確率の意味の深化 	同様に確からしい
		③ 確率の性質	1	<ul style="list-style-type: none"> 確率の範囲 余事象の考えによる確率の求め方 	
		④ 場合の数と確率(1)	1	<ul style="list-style-type: none"> 並べ方による確率の求め方 	樹形図
		⑤ 場合の数と確率(2)	1	<ul style="list-style-type: none"> 組み合わせ方による確率の求め方 	
		⑥ 起こりやすさを調べて説明しよう	1	<ul style="list-style-type: none"> ★くじ引きが公平であるかどうかを確率を用いて考察し, その結果を説明する活動 	
3月	確率	章末			
		6章のくり返し練習		<ul style="list-style-type: none"> 補充の問題 	
		6章のたしかめ	2	<ul style="list-style-type: none"> A問題(主に知識・技能の問題) B問題(活用の問題) 	
		とりくんでみよう		<ul style="list-style-type: none"> 個に応じた学習(やや難しい問題) 	
		コンピュータを活用しよう		<ul style="list-style-type: none"> 確率を求める計算 	
		巻末			
		数学研究室		<ul style="list-style-type: none"> 数学への興味を深める課題など 	
		復習		<ul style="list-style-type: none"> これまでに学習した内容を振り返る問題 	

3年 年間指導計画

(下線は学習指導要領に示された用語・記号)
 (※章の扉を扱う時数は、第1節第1小節に含まれる)

月	章	節/小節	配当 時数	学習内容	用語・記号
4 月 (12)	1 章 式 の 計 算 (22)	1章の扉	※	【導入】身近な話題への文字式の活用	
		1節 式の展開			
		① 単項式と多項式の乗法, 除法	2	・単項式と多項式の乗法 ・多項式を単項式でわる計算	
		② 式の展開	1	・展開の意味 ・2項式どうしの積の展開	展開
		③ $(x+a)(x+b)$ の展開	1	・ $(x+a)(x+b)=x^2+(a+b)x+ab$ を使う式の展開	
		④ $(x+a)^2, (x-a)^2$ の展開	1	・ $(x\pm a)^2=x^2\pm 2ax+a^2$ を使う式の展開	
		⑤ $(x+a)(x-a)$ の展開	1	・ $(x+a)(x-a)=x^2-a^2$ を使う式の展開	乗法公式
		⑥ 乗法公式の活用	2	・乗法公式を活用した数の計算 ・乗法公式を使ったいろいろな計算	
		基本の問題	1	・本節のまとめと確かめの問題	
		2節 因数分解			
		① 因数分解	2	・因数, 因数分解の意味 ・共通因数をくくり出す因数分解	因数, 因数分解
		5 月 (12)	2 章 式 の 計 算 (22)	② 乗法公式□をもとにする因数分解	1
③ 乗法公式㉔, ㉕, ㉖をもとにする因数分解	1			・ $x^2\pm 2ax+a^2=(x\pm a)^2, x^2-a^2=(x+a)(x-a)$ を利用した因数分解 ・因数分解の公式を活用した数の計算	
④ 因数分解の公式の活用	2			・いろいろな因数分解	
基本の問題	1			・本節のまとめと確かめの問題	
3節 文字式の活用					
① 数の性質を見だし伝え合おう	2			★数の性質を見だし発展させ, 文字を使って説明し伝え合う活動	
② 文字を使った証明	1			・式の展開や因数分解を使った数の性質に関する問題の解決	
4節 素因数分解					
① 素因数分解	1			・因数, 素数, 素因数, 素因数分解の意味 ・素因数分解の方法とその活用	因数, 素数, 素因数, 素因数分解
章末					
1章のくり返し練習				・補充の問題	
1章のたしかめ	2			・A問題(主に知識・技能の問題) ・B問題(活用の問題)	
とりくんでみよう		・個に応じた学習(やや難しい問題)			

(下線は学習指導要領に示された用語・記号)
 (※章の扉を扱う時数は、第1節第1小節に含まれる)

月	章	節/小節	配当 時数	学習内容	用語・記号
5月		2章の扉	※	【導入】面積が 2 cm^2 の正方形の1辺の長さ	
		1節 平方根			
6月 (14)	2章 平方根 (14)	① 2乗するとaになる数	2	・平方根, 根号の意味 ・平方根の表し方と求め方	平方根, 根号, $\sqrt{\quad}$
		② 平方根の大きさ	2	・平方根の大小 ・平方根の近似値の求め方	有理数, 無理数
		③ 有理数と無理数	1	・有理数と無理数の意味	
		基本の問題	1	・本節のまとめと確かめの問題	
		2節 平方根の計算			
		① 平方根の性質	1	・平方根の性質	
		② 平方根の乗法と除法	1	・平方根の乗法と除法 ・分母の有理化	有理化
		③ 平方根の加法と減法	1	・平方根の加法と減法	
		④ いろいろな計算	2	・分配法則, 乗法公式を使った根号のある式の計算など	
		基本の問題	1	・本節のまとめと確かめの問題	
		章末			
		2章のくり返し練習		・補充の問題	
		2章のたしかめ	2	・A問題(主に知識・技能の問題) ・B問題(活用の問題)	
		とりくんでみよう		・個に応じた学習(やや難しい問題)	
7月 (7)	3章 2次方程式 (9)	3章の扉	※	【導入】数あてゲーム	
		1節 2次方程式			
		① 2次方程式の解	1	・2次方程式とその解の意味	2次方程式, 解, 解く
		② 因数分解による解き方	1	・因数分解を使った2次方程式の解き方	
		③ 平方根の考え方をを使った解き方	1	・平方根の考え方をを使った2次方程式の解き方	
		④ 2次方程式の解の公式	2	・2次方程式の解の公式 ・解の公式を使った2次方程式の解き方	
		⑤ 2次方程式の活用	2	・2次方程式を使ったいろいろな問題の解決	
		章末			
		3章のくり返し練習		・補充の問題	
		3章のたしかめ	2	・A問題(主に知識・技能の問題) ・B問題(活用の問題)	
とりくんでみよう		・個に応じた学習(やや難しい問題)			

(下線は学習指導要領に示された用語・記号)
 (※章の扉を扱う時数は、第1節第1小節に含まれる)

月	章	節/小節	配当 時数	学習内容	用語・記号
9 月 (13)	4 章 関 数 (13)	4章の扉	※	【導入】身近にある2乗に比例する関数	
		1節 関数 $y=ax^2$			
		① 2乗に比例する関数	1	・2乗に比例する関数	2乗に比例, 比例定数
		② 関数 $y=ax^2$	1	・2乗に比例する関数の性質 ・条件を満たす2乗に比例する関数を求める方法	
		③ 関数 $y=x^2$ のグラフ	1	・関数 $y=x^2$ のグラフの特徴	
		④ 関数 $y=ax^2$ のグラフ	1	・関数 $y=ax^2$ のグラフの特徴	放物線
		⑤ 関数 $y=ax^2$ の値の変化	2	・関数 $y=ax^2$ の変化の割合 ・変域と関数 $y=ax^2$ のグラフ ・1次関数と2乗に比例する関数の比較	
		⑥ 関数 $y=ax^2$ の活用	2	・放物線と直線を使った問題の解決 ・関数 $y=ax^2$ を用いて数量の関係をとらえ考察すること	
		基本の問題	1	・本節のまとめと確かめの問題	
		2節 いろいろな関数			
		① いろいろな関数	1	・いろいろな関数	
		② 料金のしくみを調べよう	1	★生活や社会の中にある問題を関数の考えを使って解決する活動	
		章末			
		4章のくり返し練習		・補充の問題	
		4章のたしかめ	2	・A問題(主に知識・技能の問題) ・B問題(活用の問題)	
		とりくんでみよう		・個に応じた学習(やや難しい問題)	
		10 月 (14)	5 章 図 形 の 相 似 (21)	5章の扉	※
1節 相似な図形					
① 図形の相似	1			・相似の意味 ・記号 \sim を使った相似の表し方	相似, 対応する頂点, 対応する辺, 対応する角, \sim
② 相似な図形の性質	1			・相似の位置, 相似の中心 ・相似な図形の性質 ・相似比	相似の位置にある, 相似の中心, 相似比
③ 三角形の相似条件	1			・三角形の相似条件	
④ 相似の証明	2			・三角形の相似条件を使った相似の証明	
⑤ 相似の活用	1			・比の性質を使った長さの求め方 ・縮図を使った距離や高さの求め方	
⑥ 相似を活用して測量しよう	1			★相似を活用して木などの高さを求め, その方法や方法の正しさを説明する活動	
基本の問題	1			・本節のまとめと確かめの問題	
2節 平行線と線分の比					
① 三角形と平行線(1)	1			・三角形と平行線の性質	
② 三角形と平行線(2)	1			・三角形と平行線の性質	
③ 平行線と線分の比	1			・平行線と線分の比	
④ 中点連結定理	2			・中点連結定理とその活用	中点連結定理
基本の問題	1			・本節のまとめと確かめの問題	

(下線は学習指導要領に示された用語・記号)
 (※章の扉を扱う時数は、第1節第1小節に含まれる)

月	章	節/小節	配当 時数	学習内容	用語・記号
11月 (13)	5章 図形の相似	3節 相似な図形の面積比と体積比			
		① 相似な図形の面積比	2	・相似な図形の面積比	
		② 相似な立体の表面積と体積	2	・立体の相似の意味 ・相似な立体の表面積の比と体積比	
		基本の問題	1	・本節のまとめと確かめの問題	
		章末			
		5章のくり返し練習		・補充の問題	
		5章のたしかめ	2	・A問題(主に知識・技能の問題) ・B問題(活用の問題)	
		とりくんでみよう		・個に応じた学習(やや難しい問題)	
	6章 図形の定理とその活用	6章の扉	※	【導入】三平方の定理の歴史	
		1節 三平方の定理			
		① 三平方の定理	1	・三平方の定理	三平方の定理(ピタゴラスの定理)
		② 直角三角形の辺の長さ	1	・直角三角形の2辺の長さから残りの辺の長さを求める方法	
		③ 三平方の定理の逆	1	・三平方の定理の逆	
④ 平面図形への活用		2	・長方形の対角線の長さ, 三角形の高さなどの求め方 ・座標平面上の2点間の距離の求め方		
⑤ 空間図形への活用		1	・直方体の対角線の長さの求め方 ・すい体の高さ, 体積, 表面積の求め方		
基本の問題		1	・本節のまとめと確かめの問題		
12月 (8)	2節 円周角の定理	① 円周角と中心角	2	・円周角, 中心角 ・円周角の定理	円周角, 中心角, 円周角の定理
		② 半円の弧と円周角	1	・半円の弧に対する円周角 ・半円の弧に対する円周角の性質の活用	
		③ 円周角の定理の活用	2	・円周角の定理の活用	
		④ 中心角, 円周角と弧	1	・中心角と弧の定理 ・円周角と弧の定理	
		⑤ 円周角の定理の逆	1	・円周角の定理の逆	
		基本の問題	1	・本節のまとめと確かめの問題	
1月 (9)	章末	6章のくり返し練習		・補充の問題	
		6章のたしかめ	2	・A問題(主に知識・技能の問題) ・B問題(活用の問題)	
		とりくんでみよう		・個に応じた学習(やや難しい問題)	

(下線は学習指導要領に示された用語・記号)
 (※章の扉を扱う時数は、第1節第1小節に含まれる)

月	章	節／小節	配当 時数	学習内容	用語・記号
1 月	7 章 標 本 調 査 (6)	7章の扉	※	【導入】新聞の世論調査	
		1節 標本調査			
		① 全数調査と標本調査	1	・標本調査の必要性和意味 ・無作為抽出の必要性	全数調査, 標本調査, 母集団, 標本, 標本の大きさ, 無作為抽出
		② 乱数	1	・乱数を使った無作為抽出	乱数
		③ 標本調査の活用	1	・標本調査の考え方の活用	
		コンピュータを活用しよう		・乱数を発生させる関数	
		④ 母集団の傾向をとらえ説明しよう	2	★簡単な場合について標本調査を行い, 母集団の傾向をとらえ説明する活動	
		章末			
		7章のたしかめ	1	・A問題(主に知識・技能の問題) ・B問題(活用の問題)	
		標本調査をしてみよう		・簡単な標本調査の手順	
				巻末	
		数学研究室		・数学への興味を深める課題など	
		復習		・これまでに学習した内容をふり返る問題	